

青少年交換学生を終えるにあたり

青少年交換学生 マルティン・ミチコさん（スロバキア）

私のスポンサーロータリークラブは Košice klub Rotary (コシツェ RC) です。私は留学することを決断した時、簡単ではなく、たくさんの努力と苦勞が伴うことを知っていました。私の快適ゾーンから抜け出す必要があることを知っていました。日本とスロバキアでは異なることがたくさんあるので、「慣れることが難しいものトップ 5」のリストを作りました。言葉、人間関係、良い規律、環境、食べ物です。私はこれらの変化に適応しなければならなかったのですが、最初の3つは難しすぎました。

<言葉>

私はスロバキアで日本語の勉強することができませんでした。なぜなら、日本語の先生がいないからです。日本に来た日から始めました。日本語はスロバキア語とまったく違うのでたくさん努力をしても進歩は見られませんでした。最初は、なぜ言葉が覚えられないのかわかりませんでした。進歩するかわりに、学んだことを忘れていました。しかし、その後、日本語は母音の言葉だと気づきました。これは、母音が1番大切なパーツだということです。でも、スロバキア語は子音の言葉です。学ぶ方法を変え、考え方を変えなければならなかったのですが、それは簡単ではありませんでした。

日本語	スロバキア語
指	yubi prst
狼	ookami vlk
アイスクリーム	aisukuri-mu zmrzlina
木	ki strom
鹿	shika srnka

<人間関係>

私は新しい友達を作ることがうまくありませんでした。私は恥ずかしがりやで、静かで、ていねいでした。スロバキアでは友達を作ることが簡単でしたが、日本では難しいだろうと思っていました。予想以上に難しいです。最初の一ヶ月間、私の唯一の友達は何の留学生でした。私は日本語が上手ではなかったため、学校の生徒と話すことができませんでした。しかし、しばらくして、私は多くの助けをしてくれる本当に良い友達を見つけました。生涯にわたる友達を作りました。

<良い規律>

私はそれをうまくできませんでした。いつも遅く、規則に従うことがうまくできません。しかし、私は日本でこれを学ばなければならませんでした。日本人はいつも正確で、常にルールに従いますが、スロバキアではだれもが時々ルールをやぶります。最初は、いくつかの授業をサボったり、宿題をしなかったり、遅刻したりしました。私は少しトラブルメーカーだったと思います。あまり良くなかったと思います。いくつかの問題を引き起こしました。ロータリーの皆さん、ごめんなさい。いつも助けてくれてありがとうございます。

<環境>

私は数百人の市民が住む村に住んでいて、世界一大きな都市である東京に来ました。もちろん、環境の変化は容易ではありませんでした。私は毎日芝生を刈り取っていました。窓からは巨大な森と丘が見

えましたが、東京はコンクリートと灰色の建物でいっぱいです。私はそれが気に入らないと言っているわけではありません。そして、今では私の村に帰ることが想像できません。

<食べ物>

これは実際問題ではありません。日本の食べ物はおいしいので、本当に簡単でした。しかし、それは本当にことなっています。苦勞なく適応することができましたが、それは私がなれていなかった物でした。

もちろん、留学は苦勞だけではありません。私は驚くほど多くのことを経験しました。だから、苦勞は、私の留学での良い経験と比べて大きな問題ではありません。

ロータリーとローテックスはサマーキャンプ、ジヤパンツアーなどのイベントの準備をします。インバウンドとアウトバウンドがコミュニケーションをとる機会でした。すごく楽しかったです。私の人生の忘れられない時間でした。ありがとうございます。

第二に、ホストファミリーに感謝したいと思います。それは留学の最大の部分であり、彼らを私の家族と呼ぶことができ嬉しです。彼らが私のためにしたことすべてに感謝します。時々、私はそのような良いことに値することができているだろうかと考えます。彼らは、草津は山など、日本のたくさんの場所を私に見せてくれました。彼らのおかげで多くのことを学びました。私は彼らの助けと愛のすべてに感謝しています。

第三に、私の学校のおかげです。さまざまなクラスで学びました。歴史教室や博物館に行ったり、書道、日本画などをかきました。沖縄旅行や北海道旅行にも行きました。日本でスキーをする機会があるとは考えていませんでした。ありがとうございます。これらの機会を与えて下さったロータリーに感謝します。

これからスロバキアについて話します。ヨーロッパの真ん中にあり、ポーランド、チェコ、オーストリア、ハンガリー、ウクライナに隣接しています。人口は550万人、首都はブラチスラヴァです。スロバキアは小さな国ですが、多くの自然があります。これはスロバキアで一番大きなタトラ山脈です。2,655mあり、スロバキアに行くならここに行くべきです。私のお気に入りの場所です。





ボイニツェ城です。スロバキアにはたくさん城がありますが一番大きい城で 11 世紀に建てられました。私が今まで見た中で最も美しい城です。ファンタジー映画の撮影でも人気があります。



私はコシツェに住んでいます。二番目に大きな町で人口は 25 万人で、世界で 2 番目に古いマラソン大会があります。



聖アルジュベタ大聖堂はコシツェの真ん中にあります。1508 年に建てられました。一番大きな教会で町のシンボルです。

いつでもスロバキアに来て下さい。日本とは全く違う国です。日本に来られて嬉しいです。ご清聴ありがとうございます。



第 1・第 3 ホストファミリー 木下 壽子様

私は 30 年前に 750 地区からオーストラリアのパロウに派遣して頂きました。その後、大学院と時にロータリーの奨学金でスコットランドのグラスゴーに留学し、その時に主人と出会い、ロータリーには感謝しきれませんが、留学後は何もご恩返しができませんでした。今回偶然、ブラジル派遣奨学生の同期の友人から、マルティンのホストファミリーを探していることを知りました。主人がコロンビア人で家族の共通語が英語なので、ホストファミリーには適していないのかと思いましたが、お引き受けすることができました。マルティンのお父様がロータリーの青少年委員ということもあり、このプログラムに対して理解が非常に深く全く問題がなく、日本にも家族にも馴染んでくれました。何よりも私の 30 年前の記憶がよみがえり、マルティンのおかげでスロバキアについても学び、子供たちにとっても貴重な機会を頂きました。ご恩返しをするはずが、またご恩を頂いたようです。お世話になりました。またホストファミリーでお困りのことがありましたら、いつでもご相談頂ければと思います。



第 4 ホストファミリー 園部 枝実子様

青少年交換留学生の受け入れを始めたのは、神田 RC がホストクラブのマレーシアの女の子でした。その子から、「受け入れてくれてありがとう」と言われたのがきっかけです。それから 10 名ぐらい受け入れましたが、その中でもマルティンは素晴らしい青年です。実はこの時期になると悲しくなります。夕方の「ただいま」の音が、朝の「おはよう」の音が聞こえなくなります。帰ってしまったら日本語を話さなくなるでしょう。夢が覚めてしまう感じがします。受け入れは大変なこともあります。高校生の大切な時期に関われたことが、私はとても嬉しく思います。また次がありましたら、宜しく願いいたします。



閉会点鐘

奥山 聡会長



創立/1993 年 10 月 13 日(平成 5 年)
事務局/〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-2-2
グランドメゾン九段 906 号 <http://tokyo-orc.jp/>
Tel : 03-3288-7300 Fax : 03-3288-7400
E-mail : ocha-rc@sirius.ocn.ne.jp

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30
例会場 ホテルグランドパレス Tel : 03-3264-1111
会長 奥山聡 幹事 山下憲男
会報委員長 : 高山 副委員長 : 小田
委員 : 青木 岩佐 笠原 俣野 岡田